



■ 自分との出会い―「三高祭（体育祭）」閉会式にて―

3日間お疲れ様でした。生徒・教職員の皆さん、保護者・地域の皆様のご協力により無事に終わることができたことに心から感謝申し上げます。2日間の文化祭では充実した素敵な発表や展示を見ることができました。そして、今日は素晴らしい体育祭でした。まずは総合優勝した青組の皆さん、優勝おめでとう。どこが優勝してもおかしくない状況でした。色別パフォーマンスやデコレーション、衣装はどの色も完成度が高く、「知識・技能」A、「思考・判断・表現」A、「主体的に作業に取り組む態度」A、観点別評価でいうところのA・A・Aでした。各色の健闘を称えたいと思います。各色の練習や制作に尽力した生徒の皆さん、お疲れ様でした。

昨年度の開会式では「『4年ぶり』の通常開催」と言いました。逆に言えば一昨年までの3年間は通常開催ではなかったということです。その3年間で先輩方から受け継いできた伝統や、やり方が一部途絶えてしまったところもあったと思いますが、その3年間で、その時できる最大限の準備を継続しながらそれぞれの年の3年生はブラッシュアップをし続け「三高祭」というタスキをつないできてくれました。応援に来てくれた卒業生のみんな、後輩たちは頑張っているよ。

皆さんがどうやったら1年間で1回しかない全校で取り組む行事を、有意義で楽しめるものにするか考え、またそれぞれが自覚を持って様々な対策をしてくれたおかげで、すてきな3日間になりました。開校100周年、101回目の夏、「101」と聞くと皆さんは何をイメージするかな？ワンちゃん？プロデュースジャパン？プロポーズ？カップ焼きそば？あ、これはオーバーエイジ枠でした。「101」は西暦でいえば2世紀の始まり、次の100年へのスタートとなる年です。その記念すべき年の「三高祭」を皆さんと一緒に迎えられたことは学校にとっても、私にとっても嬉しいことです。統一テーマにある「101回目の青春したい宣言」。皆さんにはどんな出会いがあったかな？自分の知らない自分との出会いもあったかな？自分が自分に気づくのは自分を越えようとするときです。多くの出会いを大事にしなが、ちょっとずつ自分を超えていってほしい。皆さんの可能性は無限大だから。3年生にとっては最後の三高祭になりましたが、最上級生としての責任を立派に果たした3年生の姿をみて、大きな成長を実感しました。この勢いを大切にして、次の目標に向かって頑張っていってほしいと思います。「きっと大丈夫！」

最後に、夏休み前からこの三高祭に力を尽くし時間を費やしてくれた生徒会執行部やリーダー、部活動の皆さん、顧問の先生方、体育科の先生方、また本日も多用の中、平日にもかかわらず応援にお出かけいただきましたたくさんの保護者・地域の皆様方に心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

